

RU486による健康被害の事例報告への協力をお願い

RU486（一般名：ミフェプリストン）は妊娠の維持に必要なプロゲステロンの作用を抑止する。欧米の一部の国では妊娠初期の中絶を目的として医師の厳重な管理下にいわゆる経口妊娠中絶薬として使用が承認されているが、わが国では未承認の薬品である。

最近、わが国でも医師が関与することなくインターネット上などから個人で購入し服用した結果、異常出血などの健康被害やトラブルが生じていることが明らかになっている。

厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課では、医師の関与がない個人での使用の危険性を国民に広報するための準備を進めており、同時に RU486 の健康被害の情報収集のため、事例報告の協力について、同課より本会に対し、平成 16 年 10 月 25 日の事務連絡をもって以下のとおり要請があった。これまでも会員からは、いくつかの事例の報告と対応を求める声が医会本部に寄せられており、本会としても対策強化のために協力することとした。個人情報提供は必要がないので RU486 による健康被害が疑われる事例のある場合は最寄りの保健所に、報告票（裏面を参照）を参考に届出をお願いしたい。

事務連絡
平成 16 年 10 月 25 日

社団法人日本産婦人科医会 御中

厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課

経口妊娠中絶薬による健康被害事例の収集に関する御協力をお願いについて

日頃から、保健衛生の向上に御尽力いただきましてありがとうございます。

さて、国内では承認されていない経口妊娠中絶薬につきまして、医療機関を受診することなく、個人輸入によって服用することに起因する健康被害の発生が懸念されているところです。

そのため、厚生労働省では、我が国での健康被害の発生状況を把握して、今後の対策に役立てるため、都道府県等に依頼して、経口妊娠中絶薬の服用によることが原因と疑われる健康被害事例等の情報を収集しているところです。

つきましては、このような情報を入手した場合には、別紙様式を参考に、最寄りの保健所まで御連絡いただきますようお願い申し上げます。

なお、御連絡いただいた場合は、再度問い合わせることがあるかもしれませんが、できる限り御協力いただきますようお願い申し上げます。

別紙様式

経口妊娠中絶薬による健康被害事例報告票

被害を受けた方	歳
患者から聞き取った服用等の状況(販売名、入手方法は選択肢から選んでください。)	販売名：息隠(米非司酮片) ミフェジン(Mifegyne) ミフェプレックス(Mifeprex) 不明 その他() 入手方法：知人から ネット購入 店で購入 その他() 服用時期： 服用量：
症状及びその措置	(主症状、診察結果、治療経過等)
医師の意見等	(因果関係の程度及び判断理由)
医療機関	名称： 所在地： 電話番号：

都道府県(市・区)記入欄

都道府県(市・区)名：

保健所(部署)名：

担当者職氏名：